

実施する事業と実施体制

(1) これまでの取組

1. みやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会の取り組み

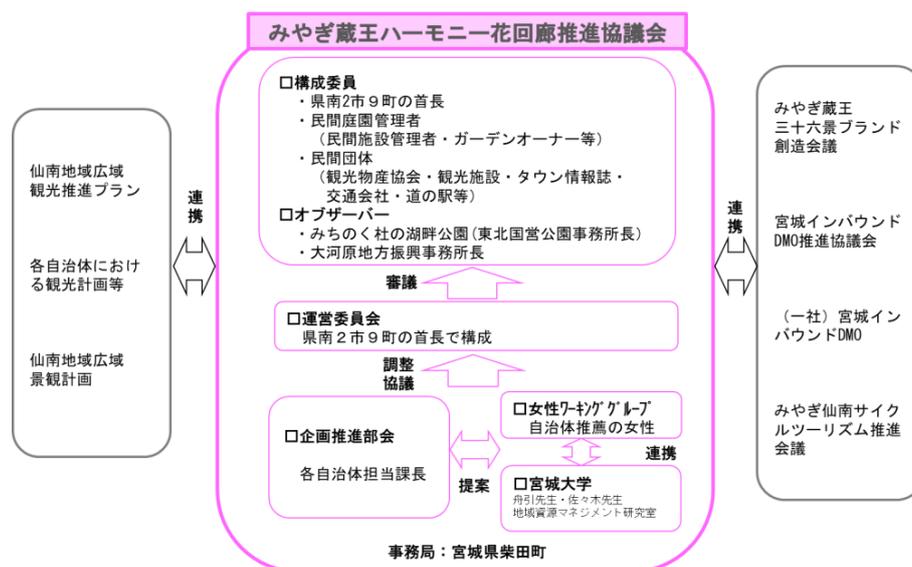
(1) 目的・経緯

みやぎ蔵王を背景とした花風景と観光を結びつけるとともに宮城県南地域において点在する庭園管理者等が一体となって連携を図ることにより、県南エリアの認知度や交流人口及び関係人口の増加を図り、もってガーデンツーリズムの促進と地域の活性化を図ることを目的として、令和元年8月に設立。

(2) 組織構成

組織委員には、宮城県南地域の2市9町の市長、町長11名、民間事業者・関係機関等の庭園管理者や代表者等23名とオブザーバーとして、国土交通省東北地方整備局東北国営公園事務所長、宮城県大河原地方振興事務所長の2名の合計36名で協議会を構成。

【協議会体制概略図】



(3) 活動実績

コロナ禍の影響により、全国的に観光イベントが自粛・中止をせざるを得ない中、女性視点での魅力あるガーデンツーリズムの構築を目指し女性ワーキンググループを発足、次の項目について意見交換を行った。

① 県南地域におけるガーデンロード・タイトルの設定

ワーキングでは、県南地域における地域資源の再確認を行うとともに、「東北らしい魅力」、「県南地域の魅力」について、ワーキングを行い、「東北の花と神秘を巡る旅」というテーマに決定しロードマップを作成しました。



②協議会のロゴマーク、スタッフジャンパー等のデザイン

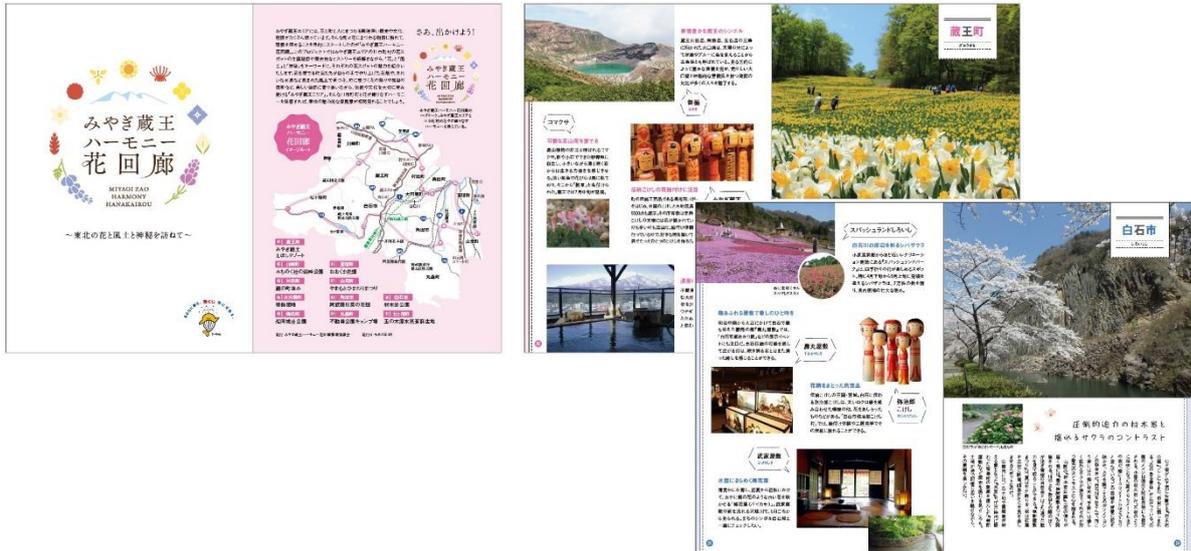
協議会のシンボルマークとして、「みやぎ蔵王」のシルエットを中心に、各構成市町の象徴となる花々のモチーフで囲み、東北らしいレトロ感を演出する書体で演出しました。

みやぎ蔵王を背景とした、みやぎ県南地域に点在する花園を協議会が中心となり活動を展開していくことへの象徴的なマークとして決定しました。



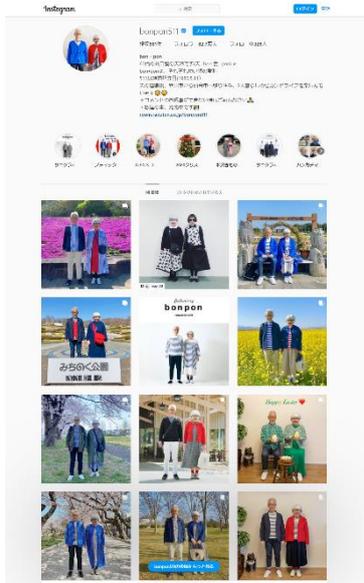
③東北の花と風土と神秘を訪ねる「みやぎ蔵王ハーモニー花回廊」ガーデンツーリズムガイドブックの作成

県南地域ならではのガーデンツーリズムを楽しんでもらうため、自治体ごとに花の名所の成り立ち・特徴・見どころなどを読み物語風に紹介しています。また、東北の「花」・「風土」・「神秘」にかかるスポットの紹介も併せて行い、花スポットと併せて訪れてほしい周遊スポットを掲載しています。



4) インフルエンサーを活用した情報発信

フォロワー数、約 83 万人、仙台在住のインフルエンサー「bonpon511」様に、県南地域の花スポットの様子を Instagram にて紹介。

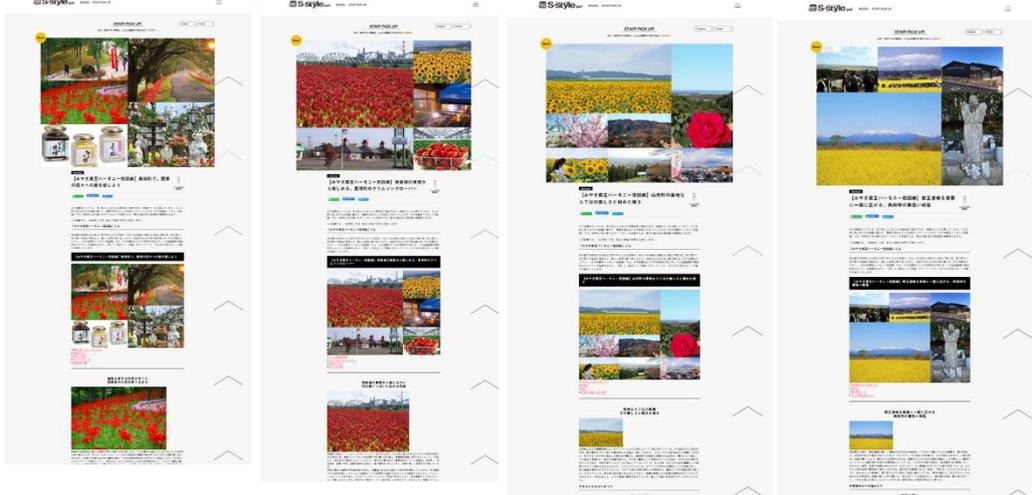


60代の共白髪のご夫婦（夫=bon、妻=pon）で、bonさんの退職後、秋田市から仙台市に移り住み、二人暮らしのセカンドライフの中で、各地へ訪れた模様をアップしています。おそろいのコーディネートは、全国誌での紹介やショップとのコラボなど、若者から同世代まで、幅広い層に人気。20代から30代の若者に人気の情報誌「せんだいタウン情報 S-style」や「Kappo」などの特集企画にも登場し、仙台圏、宮城で最も知名度の高いインスタグラマーです。

⑤地元情報誌 Web サイトを活用した情報発信

仙台・宮城で46年間タウン情報誌を発行している株式会社プレスアートのWebメディア「日刊せんだいタウン情報 S-style Web」で情報を発信しました。20代から40代に多くみられているWEBサイトです。SNSのフォロワー数も充実しており、さらに、グルメ、お出かけ、イベントなど、編集部スタッフが日刊(毎日)記事を発信しており、情報拡散にたけているメディアです。

柴田町 令和3年2月1日更新 巨理町 令和3年2月8日更新 山元町 令和3年2月15日更新 角田市 令和3年2月22日更新



⑥デモツアーの実施・検討

・マイクロツーリズムを意識した、日帰りプランを想定し、大型バスを使ってデモツアー方式で実施。

現地案内ルート(日帰りコース)



- ①太平洋沿岸の山元町
(震災遺構中浜小学校とひまわり畑)
- ②大河原町
(もちぶた館・
おおがわら天然温泉いい湯)
- ③蔵王町
(蔵王酪農センターバラ園)
- ④村田町
(道の駅村田)
- ⑤柴田町
(船岡城址公園・コミュニティガーデン)

・女性ワーキングで検討した秋の日帰りルートとして、大型バスにてモニターツアーを実施。
 秋は、花々のスポットが少ないことから、紅葉を見ながら、各地域の文化を体験できるツアーとして、次のルート設定。女性メンバーによるモニターツアーを実施した。

女性ワーキングによるモニターツアールート（日帰りコース）



- ①白石城益岡公園（白石市）
（集合・解散場所として設定）
- ②みちのく杜の湖畔公園（川崎町）
（秋の紅葉と
東北6県の古民家を見学）
- ③街道 HOSTEL おたて（七ヶ宿町）
（そば打ち体験・昼食）
- ④すみやのくらし（七ヶ宿町）
（カフェ・フラワーアレンジメント）
- ⑤道の駅七ヶ宿（七ヶ宿町）
（地場産品の買い物）
- ⑥白石城益岡公園（白石市）
（集合・解散場所として設定）

みちのく
杜の湖畔公園



街道 HOSTEL
おたて



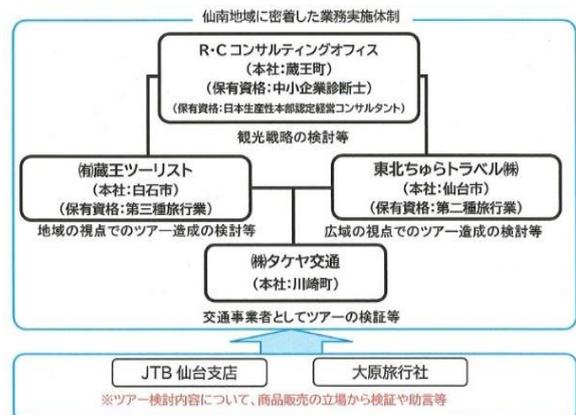
すみやのくらし



道の駅
七ヶ宿



- ・四季ツアーコースの構築を図るためプロポーサル方式により民間事業者から提案を募集。4社の提案の中から、経営コンサルタント、旅行事業者、交通事業者との共同提案体と契約。
- ・コース構築にあたっては、女性視点に重点を置くため、女性ワーキングメンバーの意見を取り入れながら進め、年度内2回程度のデモツアーを実施します。



2. 各自治体等における、これまでの取り組み状況

みやぎ蔵王山麓に広がる県南2市9町においては各公園や花畑において春の水芭蕉に始まり、梅、桜、菜の花、スイセン、アジサイ、ヒマワリ、彼岸花、菊、紅葉と四季折々の花祭が開催されています。さらに、柴田町において5～6月にかけて各家庭のお庭を巡るオープンガーデンが開催されており、特に女性の人気を博しています。

(1) 各自治体、民間庭園により個別に開催しているイベント

□白石市

白石城（益岡公園）、スパッシュランドパーク、どうだんの森、水芭蕉の森など市が管理する公園等には、桜をはじめとして、シバザクラ、自然サラサドウダン、水芭蕉、ノダフジが植生されており、季節ごとに来訪者を受け入れています。また、材木岩公園では、4月下旬から5月の連休にかけて、「鯉のぼりの吹き流し」が行われ、白石川に何百匹もの鯉のぼりが泳ぎ、川沿いの桜と鯉のぼりの共演は、圧巻の景色です。

- 3月下旬 水芭蕉の森の開園式
- 4月上旬～中旬 白石城桜まつり
- 4月下旬～5月上旬 材木岩公園「鯉のぼりの吹き流し」

□角田市

「みやぎ蔵王三十六景」にも選ばれている阿武隈川右岸、3.2haほどの広さ一面に広がる菜の花畑は、地元青年会が菜の花の栽培を行い、約250万本もの菜の花が咲き誇る4月下旬に『かくだ菜の花まつり』を開催し、多くの地元住民や観光客が賑わいをみせています。

□蔵王町

冬季はえぼしスキー場として、全国各地より多くのスキーヤーが訪れる、みやぎ蔵王えぼしリゾートでは、4月から11月にかけてイベントを開催しています。

- 4～5月：すいせん祭り
- 6～7月：展望グリーンフェスタ～東北最大級のシロヤシオツツジ群生と山野草～
- 6～8月：えぼしロックガーデンの高山植物
- 4～11月：ロックガーデン

蔵王酪農センターチーズ工場の敷地内にあり、オールドローズやイングリッシュローズなど、約400種類のバラが咲き誇るバラ園を開園。見ごろは6月上旬～7月上旬ですが、種類によってはその他の季節にも咲いています。

□七ヶ宿町

七ヶ宿ダム自然休養公園は、七ヶ宿ダムによって出現した湖面の有効利用を図るため整備された28haの広大な公園で、自然環境を活かしつつダム湖ではボートやヨット等を楽しめるスポットです。園内には、桜をはじめ77種7,777本もの樹木が植えられています。そのうち、約3,500本が桜の木となっており、公園一面を桜が覆います。

- 4月：七ヶ宿湖さくら祭り

8月：七ヶ宿火まつり

10月：七ヶ宿湖一周ウォーキング

また、山形県との県界に位置する玉ノ木原水芭蕉群生地は、国道113号線沿いにあり、約3.5haの面積に約7万株の水芭蕉郡が見られます。水芭蕉は、山間の湿地帯に生える植物で、春になると20～30cmの白い花を咲かせることから、4月にオープニングセレモニーを開催しています。

□大河原町

大河原町西部の丘陵地にある「とんとんの丘」は、散策路や動物とふれあえる「わんぱくの森」などの里山広場や、産直施設、日帰り温泉の施設です。施設内には四季折々の草花が楽しめる散策路で春は梅・桜、夏はバラ・アヤメ、秋は紅葉が見頃となり、年間15万人を超える来場者でにぎわっています。

6月下旬 おおがわら梅まつり

地場産業の振興と新しい観光農業の創造を目的として、梅の生産・出荷を行っている「金ヶ瀬梅組合」を中心に、平成19年より「おおがわら梅まつり」を開催しています。堤梅団地での梅狩り体験や青梅の量り売り、梅加工品の販売などを行っています。

(梅の花の見頃は例年3月中旬～4月上旬にかけて、堤梅団地を中心に咲き誇ります。)

12月上旬～1月中旬 おおがわら桜イルミネーション

一目千本桜のまち・大河原をイメージしたイルミネーションは、白石川沿いの桜38本の木が桜色のLEDで淡く輝き、下から照らすスポットライトが「冬の夜桜」を彩ります。JR東北本線大河原駅から徒歩3分とアクセスが良く、冬でも桜を楽しめるイベントです。

□村田町

村田町の中心部の土蔵や豪勢な門構えの建物が残る古い町並み「みちのく宮城の小京都」と呼ばれ、県内初の重要伝統的建造物群保存地区にされています。

5月 蛇藤まつり

6月 そら豆まつり

8月 とうもろこし「味来」販売推奨月間

伊達宗高公まつり花火大会

9月 新米まつり

10月 蔵の町むらた布袋まつり

みやぎ村田町蔵の陶器市

3月 むらた町家の雛めぐり

伊達宗高公まつりが開催される「龍島院」は天授元年(1375年)に開山し、院内の庭園は宮城観光百選にも選ばれ、四季折々の素晴らしい庭の表情を見ることができます。

この他にも道の駅「村田」では、洋ラン展や工芸品の展示販売会などのイベントを毎月開催しています。また、国内に6ヶ所しかない国際公認レーシングコースを保有する総合モータースポーツ施設「スポーツランドSUGO」は、SUPER GTやスーパーフォーミュラなど人気シリーズを含め大小さまざまなレースが開催されております。手ぶらで手軽にレーサー気分が味わえるレンタルカート体験もあり、レースファンのみならず親子連れや若者も楽しめるサーキットです。

□柴田町

東日本大震災から創造的復興を目指すため「花のまち柴田」をテーマに船岡城址公園を中心とした、年間を通じたイベントを開催し、通年型のフラワーツーリズムを推進。

3 月：しばたスプリング・フラワー・フェスティバル

4 月：しばた桜まつり

6～7月：しばた紫陽花まつり

9 月：しばた曼珠沙華まつり

10 月：しばたオータムガーデンフェスタ

10～11月：みやぎ大菊花展柴田大会

12 月：しばたファンタジーイルミネーション

また、個人の庭を開放するオープンガーデンを実施し、毎年延べ3,000人程の愛好家が訪れています。町内で一斉に行うオープンガーデンは年1回開催ですが、里山を含む4か所は、常時開催しています。

□川崎町

東北地方唯一の国営公園である「みちのく杜の湖畔公園」では、年間を通して四季折々の花々が楽しめるイベントを開催しています。

4～5 月：花のフェスティバル

5～6 月：ポピーまつり

7～8 月：夏フェア

9～10 月：COKO フェスタ

10～12 月：夜間イベント

1 月 月：新春ふるさとまつり

1～2 月：かまくらまつり

3月 月：クリスマスローズまつり

□丸森町

町内を流れる阿武隈川は東北第二の大河で、長い間重要な物資輸送路として利用されてきた歴史を持ち、その舟運を現在に伝える「阿武隈ライン舟下り」があります。丸森町の歴史を感じられる“猫神”のペイントを施した観光船で四季折々に移り変わる雄大な自然を堪能できます。

□亘理町

阿武隈川右岸敷地を利用して、逢隈地区まちづくり協議会が管理運営するおおくま花畑では、5月にはクリムソクローバー、9月にはひまわりが植栽され、敷地一面に咲き誇ります。

□山元町

山元町では平成30年度から、東日本大震災で被災した沿岸部で「やまもとひまわり祭り」を開催しています。農地整備事業で生み出された広大な農地の地力増進のためにヒマワリを作付け

②花修景を軸とした地域振興へつなげる観光戦略

ツアーコースの造成については、ウィズコロナそしてアフターコロナを見据えた検討を行っていきます。そのため、大規模な公園や庭園だけでなく、当該地域の特性を生かした中小規模な庭園・観光資源などをまわりながら、小イベントなどに参加・体験できる参加型ツアーといった、小規模でコンパクトなマイクロツーリズムも一緒に検討してまいります。

本地域における庭園拠点である、白石城、船岡城址公園、龍島院など伊達家の重鎮たちが伊達を守る軍事拠点・要害であったという、歴史的な背景などもあります。蔵王山麓の「遠刈田温泉」、「鎌先温泉」、「小原温泉」、「峩々温泉」等や、県南地域の中心部に位置する大河原町の「おのがわら天然温泉いい湯」や沿岸部の亘理町の「わたり温泉鳥の海」などの温泉地が点在しています。さらに、蔵王チーズ、白石温麺、はらこめし、ほっきめしなど山海の幸による蔵王山麓ならではのグルメも充実しています。

こうした、歴史・風土といった地域資源と花修景拠点を融合させることで歴史・健康・グルメといった五感で感じるアクティブなガーデンツーリズムが可能となります。



こうした、みやぎ蔵王の雄大な自然に育まれた景観や食・温泉等の恵みと歴史に彩られた地域という個々の魅力を花修景という軸として紡いでいくことで、地域の魅力を最大限に引き出し、地域の活性化につなげてまいります。

□その他主な事業内容

(1) 広域観光基盤の整備

- ①花巡りカレンダー・花マップの作成
- ②ガーデンロードの設定と磨き上げ
- ③共同イベントの開催（ガーデン市、植木市）

(2) 情報発信

- ①共通ポスター・チラシの作成配布
- ②インフルエンサーを活用した点検及び情報発信
- ③花の季節にあわせた各種メディアへの掲載等

- (3) プロモーション活動の展開
 - ①花巡りツアーの企画
 - ②ガーデンツーリズムシンポジウムの開催
 - ③県南エリアへの誘客キャンペーンの実施
- (4) コンテンツの充実
 - ①新たな体験プログラムの造成
 - ②季節ごとの素材写真、動画の作成

(3) 協議会の構成員

□構成委員

- 1 県南2市9町の自治体
- 2 民間庭園管理者
- 3 民間団体 (①観光物産協会等 ②施設管理者 ③タウン情報誌 ④交通会社 ⑤道の駅等)

□オブザーバー

- 1 国土交通省東北地方整備局東北国営公園事務所
- 2 宮城県大河原地方振興事務所

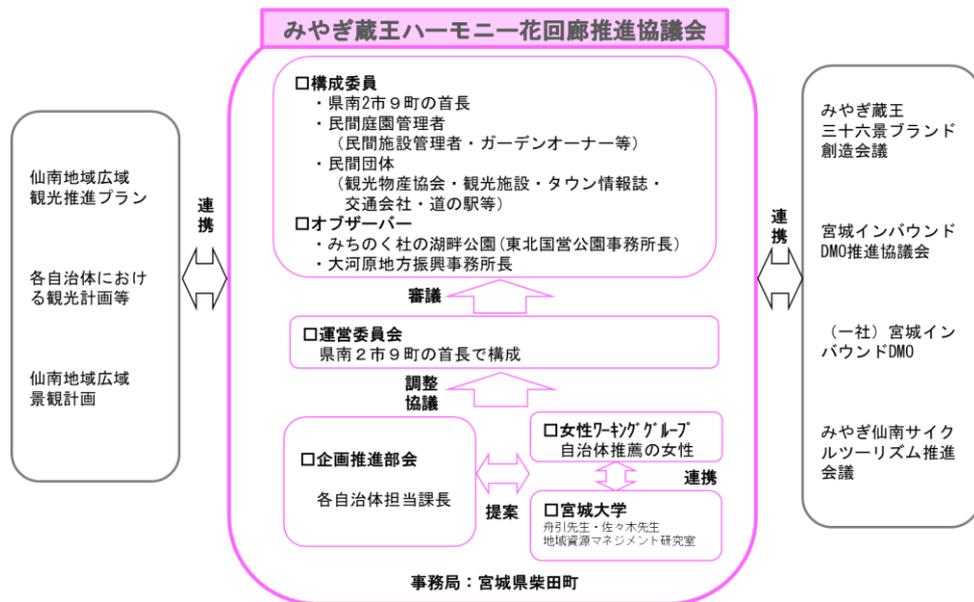
□連携団体

- 1 みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議
- 2 宮城インバウンド DMO 推進協議会
- 3 (一社) 宮城インバウンド DMO
- 4 みやぎ仙南サイクルツーリズム推進会議

□意見提案グループ

- 1 女性ワーキンググループ
- 2 宮城大学 (舟引教授・佐々木秀之准教授・地域資源マネジメント研究室)

【協議会体制概略図】



(4) 事業の実施体制

2市9町を核とし庭園管理者、観光関連事業者等で組織するみやぎ蔵王ハーモニー花回廊推進協議会を核とし、国土交通省東北地方整備局東北国営公園事務所や宮城県大河原振興事務所をオブザーバーに加えるとともに、宮城インバウンドDMOとも連携しながら、観光基盤の整備、情報発信コンテンツの磨き上げ、プロモーション活動、おもてなし作戦を展開します。

また、女性視点での魅力的なツーリズムとなるよう、女性のみで組織する女性ワーキンググループにおいて、ツアールート、ロゴマーク、ガイドブック等の計画提案を行います。さらに、宮城大学の舟引先生及び佐々木先生2名の指導助言を仰ぎながら、同大学の地域資源マネジメント研究室と協力・連携を図っていきます。

- (1) 総 会 年1回
- (2) 運営委員会 年1回 (各自治体の首長で構成)
- (3) 企画推進作業部会 随時開催 (各自治体課長及び構成メンバー)
- (4) 女性ワーキング 随時開催 (各自治体から推薦のあった女性)

(5) 具体的な事業

様式1-9のとおり